

平成27年度京都府地域包括ケア総合交付金 連携・交流促進会 開催概要について

1 開催概要

(1) 日 時 平成28年2月23日(火) 13:30～15:30

(2) 場 所 京都府医師会館 3階会議室

(3) 参加者 108名(参考:㊦第1部ポスター発表185名、第2部交流会95名)

(4) 開催趣旨・結果

○ 地域包括ケアの推進に向けては、多様なサービスを住民主体で創出し、提供する新しい地域支援事業への移行や認知症総合対策の推進、在宅医療・介護の連携などの包括的支援事業の充実が市町村の重要な課題であるため、市町村と関係機関・団体(NPO等中間支援団体含む)が地域やテーマ毎の課題を共有しあい、次年度に向け、関係団体との連携による新たな取り組みを支援するため、「連携・交流促進会」を開催した。

○ ディスカッション1では、選択テーマ毎(①認知症総合対策の推進、②医療・介護連携、③地域におけるリハビリ支援、④地域支援事業移行)に議論を進め、他の市町村の取組を知り、関係機関・団体のアドバイスによる気づき創出の場とし、ディスカッション2では、圏域毎で、ディスカッション1を踏まえ、地域の協力体制づくりと圏域の地域協議会へ発展していくことを狙いとし、議論を行った。

活発な意見交換がされ、連携づくり、次年度への取組の新展開を図ることができた。

<参考>参加者アンケートより

■展望、よかったこと

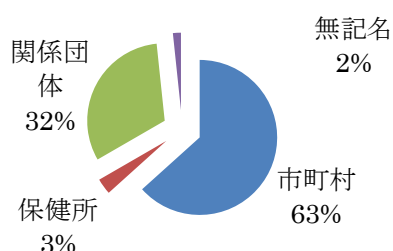
- ・他市町村の取組を知る機会となり、地域支援事業開始に向けた課題を市内で整理する必要性を改めて感じた。
- ・「地域を耕す」ため包括支援センターができることを考えていく
- ・職能団体の取り組みなどをもっと周知され連携できたらよい。横のつながりをつくることにより、次のステップになる。
- ・諦めずに地域のボランティアコーディネーターと協力しアプローチしたい。
- ・中間支援組織としてアイデアを整理し広めていくことに注力したい 等

■課題

- ・顔の見える関係づくり。
- ・高齢化の進んでいる地域での人材確保、資源の掘り起こし。等

(出席者108名 アンケート数60名 回収率55.5%)

所 属



連携してみたい市町村・団体の有無

